

○議長（川崎和夫君） 4番 森 弘秋君。

○4番（森 弘秋君） 開かれた議会を目指して、今回からインターネットが始まります。大変いいことだと、一步前進であります。

6月議会でマイナンバー制度について質問しましたが、先日の新聞報道によりますと、総務省は、マイナンバー制度の個人番号カードを活用し、クレジットカードのポイント等を自治体ポイントに移行する実証実験を9月から始めるということを明らかにしました。番号カードの普及に向け、2019年度から本格運用を目指すそうです。

先日、上市町の役場に所用で行って来ました。町民課窓口にはマイナンバー制度の政府広報、28年度版が置いてありました。また、早速ふなはし村報8月号に掲載され、広報されました。

さて、私からは、通告してあります、スポーツ振興に係る次代を担う子どもたちの活動の支援についての整備についてお聞きしたいと思います。

ご存じのように、舟橋村には、舟橋文化スポーツクラブ「バンドリー」が存在し活躍しております。クラブでは、キッズスポーツ教室、バドミントン、キンボールスポーツ等、さまざまなスポーツ活動が実施されております。

また、中学校のスポーツエキスパート事業として、テニス、バスケット、卓球等に講師を依頼していますが、講師に対し、合わせて年間数万円の謝金が支払われていると聞いております。この金額が妥当かどうかは、価値観は比較するものではありません。さらに、生涯スポーツクラブ活動資金として年間百数十万円の予算があるそうです。

私の関知するところではありませんが、総合型地域スポーツクラブ普及、健康保持の予算でありますから、直接にスポーツ振興にかかわるかどうかは定かではありません。お金は、人に例えれば血液です。その血液がなくなれば活動ができません。

ところで、一例を挙げますと、第14回北日本新聞社旗争奪県少年野球大会が8月15日から開催され、各組の予選が終了しました。舟橋村スポーツ少年団「舟橋ビクトリーズ」が見事決勝戦に進出します。舟橋ビクトリーズが野村レッドイーグルスに3対1、大広田ホークスに3対2で勝利しました。決勝戦は11月4日から開催される予定であります。健闘を期待したいものです。

ちなみに、昨年の表彰チームは、氷見の稲積少年野球部、一昨年は富山の新庄ジャイアンツです。頑張れ、舟橋ビクトリーズであります。

中新川郡から参加したチームは、立山町では、立山清峰スポーツ少年団、釜ヶ淵ピー

ス、立山JBCの3球団。上市町は、宮川スターズ、相ノ木ZZ、上市中央ベースボールクラブの3球団。そして、舟橋村の舟橋ビクトリーズが参加しております。

近隣のスポーツ少年団への対応は、立山町では、立山町スポーツ少年団があり、そこに補助金を交付し、その少年団から単クラブに補助金を出していると聞きました。補助金額は、団員数に単価を乗じた金額及び基本金額を加算して補助するそうです。少年団には、野球をはじめ、サッカー、ジュニアバドミントン、ソフトボール、馬術等16団体が存在します。

また、上市町は、上市町スポーツ少年団があり、補助金額は少年団割、団員数と指導者数を加えた人数に単価を乗じた金額及び活動日数に1日の単価を乗じた金額を実績に応じて補助するそうです。ほかに、参加実績に応じて各種補助・助成金が支払われています。特筆すべきことは、均等割が支給されるそうであります。金額は年によって違うそうです。少年団には、野球をはじめ、サッカー、バドミントン、柔道、空手等14の団体が所属しています。

さて、舟橋村の他の活動を見てみますと、サッカークラブZERO、スポーツ少年団野球クラブ、舟橋スポーツクラブとして、キンボールをはじめ各種のスポーツ大会・交流会に参加していると聞きます。

これらの活動に対して、資金の支援はされているのでしょうか。先ほども申しましたが、お金は、人に例えれば血液です。その血液がなくなれば、活動ができません。

私のお願いするのは、個々に活動する団体の活動をより進めるためには、よき指導者が必要です。よき指導者を招聘し、強化練習等選手の強化に当たるため、中心的存在となるよき指導者がいなければ、選手は育たないといえます。

もちろん選手の気概も必要であります。中心なき組織は機能しないといえます。中心になるよき指導者がいなければ、よき選手は育たないと考えます。競争心が大切です。

舟橋村のキャッチフレーズであります「舟橋村に住んでみたい。」「これからも、ずっと住み続けたい。」村とするためには、次世代を担う子どもたちに夢と希望を与える必要があると考えます。

舟橋村は、いろんな分野に力を入れている。やはり子どもを育てるなら舟橋村、住み続けるなら舟橋村であります。

再度言います。次世代を担う子どもたちに夢と希望を与えるためには、ハードも大切ですが、ソフトの面からも支援が必要ではと考えます。スポーツの指導者の招聘

の資金、かつ、スポーツ選手の強化・育成のための資金、各種スポーツの助成をお願いします。

中新川から出場した舟橋ビクトリーズは、報道機関に対して、「全力プレー、感謝を忘れずにチーム一丸となり、予選突破を目指して、一戦必勝を目指して頑張ります」をスローガンにして戦うことを誓い、新聞社旗の争奪戦に、栄冠を目指し集中して頑張ってくれています。

このように頑張っている少年たち、野球少年のみならず、他のスポーツの分野の活躍のためにも、そして舟橋村の子どもたちの健全育成にも惜しみなく資金を投資していただきたいと思います。

保護者に安心して子どもたちの健全育成を任せておける舟橋村として、人を舟橋村に引き込む計画。これぞまさしく地方創生の範疇である人口増対策の一手段でもあると考えます。

スポーツの向上は教育の向上にもつながるものと確信いたします。ちょっと話が違いますけども、先日、世界大学ランキングが発表されました。東大が46位に転落。過去最低と報道されました。原因は、100%ではありませんが、資金不足が響いたそうです。

近郊にサッカー場もできました。土日になると満員です。雨の日も練習です。よく頑張っております。

また、東京オリンピックが2020年に開催されます。舟橋村もスポーツ振興に投資してはいかがでしょうか。

最後に、「若い世代に十分な教育を施すことが国の運命を決めるのだ」、哲学者アリストテレスの言葉です。活動実態の把握と前向きなよき答弁を期待します。

終わります。

○議長（川崎和夫君） 教育長 高野壽信君。

○教育長（高野壽信君） 4番森議員さんのご質問にお答えします。

スポーツの本質は、スポーツを愛好・享受する人々の自発性や主体性といったものが尊重されるべきものであり、村としてあらゆる機会・場所においてスポーツを楽しむことができるような環境の基盤整備・充実を図ることは重要な責務であります。

村のスポーツ状況、特に地域における子どもたちのスポーツ状況について述べますと、現在、スポーツ少年団の組織の中で活動している少年野球チーム「舟橋ビクトリーズ」

と任意団体として活動しているサッカーチーム「サッカーZERO」があります。両チームともグラウンドで一生懸命練習しているのを目にされ、応援しておられる方も多いのではないかと思います。

村の具体的支援として、舟橋ビクトリーズは、舟橋村スポーツ少年団に加盟しておりますので、舟橋村スポーツ少年団活動助成金が出ております。このほかに、少年スポーツ団体には、村の体力向上事業としまして、走り方教室、コーディネーショントレーニング、栄養学講座などを実施しております。一昨年には、舟橋中出身のソフトバンクの幸山選手に野球の基礎練習などについて話してもらいました。

議員さんのご質問にあります指導者の招聘、選手強化のための支援につきましては、現在のすぐれたスポーツ指導者の存在も村のスポーツ振興に大きく貢献していただいておりますが、さらに支援を進め、スポーツを実践する能力を高め、継続的な活動ができるよう教育委員会、特に社会教育の担当者が少年スポーツ団体・任意団体との連絡を密にして、スポーツ環境の整備・推進に努めたいと考えております。

以上で森議員さんのご質問に対する答弁とさせていただきます。